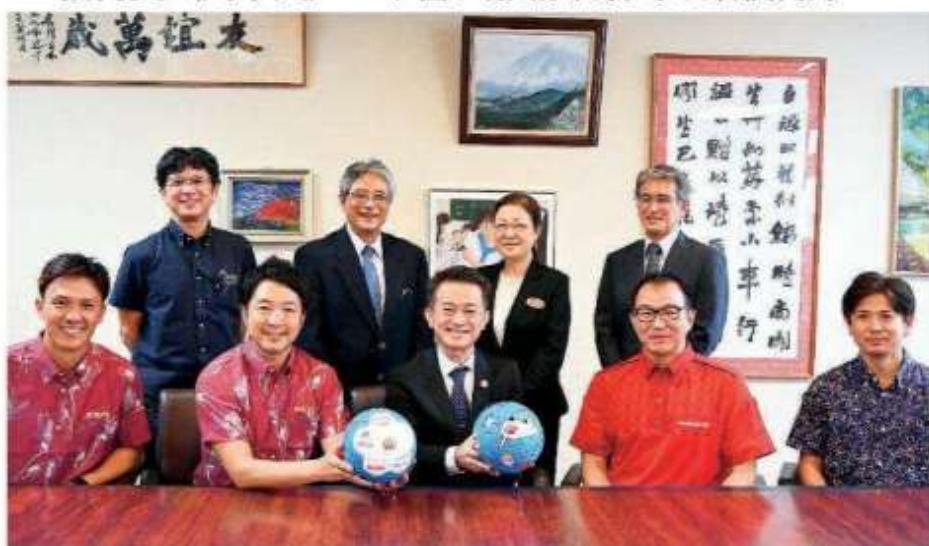


オリジナルボールを手にする琉球フットボールクラブの荻原直樹常務（前列左から2人目）と沖縄県教育長（同中央）＝7日、那覇市泉崎の県教育庁



FC琉球がボール寄贈 県内全小学校に1064個

離島を含む県内全ての小学校にサッカーボールを贈る、FC琉球夢ボールプロジェクト2022の贈呈式が7日、那覇市泉崎の県教育庁で行われた。小学生から公募したデザインが施されたオリジナルボールは1校に4個、全266校に計1064個贈られ、5月上旬までには子どもたちの元に届けられる予定だ。贈呈は3度目。新型コロナウイルス感染拡大防止のために授業や部活動が制限される中でも、子どもたちにスポーツの楽しさや夢を持つ大きさを感じてもらおうと企画された。

21年からはボールのデザインを小学生から公募。今年はFC琉球の公式マスコット「ジンベーニョ」のモチーフ・ジンベエザメと海の生き物

離島を含む県内全ての小学校にサッカーボールを贈る、FC琉球夢ボールプロジェクト2022の贈呈式が7日、那覇市泉崎の県教育庁で行われた。小学生から公募したデザインが施されたオリジナルボールは1校に4個、全266校に計1064個贈られ、5月上旬までには子どもたちの元に届けられる予定だ。贈呈は3度目。新型コロナウイルス感染拡大防止のために授業や部活動が制限される中でも、子どもたちにスポーツの楽しさや夢を持つ大きさを感じてもらおうと企画された。

FC琉球を運営する琉球フットボールクラブの荻原直樹常務は、昨年開催されたワールドカップでJリーグに加盟するクラブの下部組織から育った選手が活躍したことを挙げ、「（ボール贈呈が）子どもたちのサッカーを始めるきっかけとなつて、沖縄から世界に羽ばたいてほしい」と述べた。上原慎也FC琉球クラブコミュニケーションセンターは「サッカー、FC琉球に興味を持つてもらい、外で思いっきり遊んで仲間との絆を築いてほしい」と期待した。

（安里周悟）